



平成 27 年 11 月 5 日

港湾局産業港湾課

## 第 16 回北東アジア港湾局長会議ならびに 第 16 回北東アジア港湾シンポジウムの開催結果について

平成 27 年 11 月 2 日(月)～11 月 3 日(火)の間、第 16 回北東アジア港湾局長会議および第 16 回北東アジア港湾シンポジウムが日本神戸市で開催されました。

### 1. 第 16 回北東アジア港湾局長会議

日中韓の港湾局長等が一堂に会し、第 16 回北東アジア港湾局長会議が日本神戸市で開催されました。会議では、まず各国の代表から「港のにぎわいづくり」をテーマとして報告があり、活発な意見交換が行われました。日本からは、にぎわい創出のための再開発事例とともに、みなとオアシス等の取組について紹介を行いました。

さらに、作業部会において取り組んできた「北東アジアの海上コンテナ輸送における R F I D 活用の促進」、「北東アジアにおけるマリーナネットワークの構築」、「北東アジアにおけるクルーズ振興」について成果報告が行われました。特に、日本が主導していた「北東アジアにおけるクルーズ振興」では日中韓におけるクルーズ振興の優良事例集が提出されました。また、「沿岸環境の変化と対策の効果」のテーマでは、新たに中国も加わり、三か国の研究機関で研究を続けることが報告されました。今後の共同研究として、「日中韓における港湾法制度の比較研究」、「コンテナターミナルの効率的開発のための荷役能力の研究」、「北東アジアにおける港のにぎわいづくり」の 3 つのテーマに取り組むことを確認しました。また、神戸市吉井真みなと総局長から、「神戸港の課題と取組み」についてのプレゼンテーションが行われました。

なお、北東アジア港湾局長会議は、1995 年から 1999 年の間、年 1 回開催された日韓港湾局長会議をベースに、2000 年より中国が加わり拡大したもので、今回で 16 回目の開催となります。次回の第 17 回北東アジア港湾局長会議は、韓国で開催される予定です。

### 2. 第 16 回北東アジア港湾シンポジウム

局長会議翌日の 11 月 3 日には、第 16 回北東アジア港湾シンポジウムが開催されました。日中韓の官民の港湾関係者約 300 名が集まり、「海洋連結性 ～人・物のつながり～」をテーマに三か国の専門家から発表があり、その後発表者と参加者による熱心な質疑がなされました。また、特別講演として久元喜造神戸市長から「みなとまち神戸のこれから」と題した発表がありました。

【問い合わせ先】国土交通省港湾局産業港湾課国際企画室 中嶋、新見、福永  
(代表)03-5253-8111 (直通)03-5253-8679 (内線)46464、46463 (FAX)03-5253-1651

## 第 16 回北東アジア港湾局長会議

(11 月 2 日 (月) 9:30-17:00 日本・神戸市、神戸ポートピアホテル)

### 出席者

- 日本 (国土交通省港湾局長 菊地 身智雄をはじめ 9 名)
- 中国 (交通運輸部水運局副局長 姜 明宝をはじめ 6 名)
- 韓国 (海洋水産部釜山港建設事務所長 崔 鳴鏞をはじめ 10 名)

### 主要議事

(ア) 「港のにぎわいづくり」をテーマとした情報交換

発表者：

日本) 国土交通省港湾局長 菊地 身智雄

・日本における港のにぎわいづくり

中国) 交通運輸部水運局副局長 姜 明宝 (Jiang, Mingbao)

・Brief Introduction of China's Ports Management (2015)

韓国) 海洋水産部釜山港建設事務所長 崔 鳴鏞 (Choi, Myung Yong)

・Policies of Korea for attracting people to the ports

(イ) 共同研究の報告

以下の 4 つのテーマについて、成果報告を行い、意見交換を実施しました。

- ・北東アジアの海上コンテナ輸送における R F I D 活用の促進 (中国提案)
- ・北東アジアにおけるマリーナネットワークの構築 (韓国提案)
- ・北東アジアにおけるクルーズ振興 (日本提案)
- ・沿岸環境の変化と対策の効果 (韓国・日本合同)

「北東アジアにおけるクルーズ振興」では、日本により、日中韓におけるクルーズ振興の優良事例集が提出されたこと、また、「沿岸環境の変化と対策の効果」では、新たに中国も加わり、三か国の研究機関で研究を続けることが報告されました。

今後の共同研究としては、以下の 3 つのテーマに取り組むことを確認しました。

- ・日中韓における港湾法制度の比較研究 (中国提案)
- ・コンテナターミナルの効率的開発のための荷役能力の研究 (韓国提案)
- ・北東アジアにおける港のにぎわいづくり (日本提案)

(ウ) 第 17 回北東アジア港湾局長会議

開催時期、開催場所などについて意見交換を行いました。

(エ) 神戸港の課題と取組み

神戸市 吉井 真みなと総局長より「神戸港の課題と取組み」と題した発表が行われました。

### 議事録署名

上記内容について 3 国間で署名しました。

### 今後の予定

来年、第 17 回北東アジア港湾局長会議を韓国で開催する予定です。

## 第16回北東アジア港湾シンポジウム

(11月3日(火) 13:30-17:30 日本・神戸市、神戸ポートピアホテル)

### 主催

北東アジア港湾シンポジウム実行委員会、国土交通省港湾局

### 参加者

日中韓の官民の港湾関係者合わせて約300名(日本側 約230名、中国側 約20名、韓国側 約50名)

### プレゼンテーション

#### ○第1部「Maritime Connectivity ～People～ (海洋連結性 ～人のつながり～)」

- ・事例発表1 中国：中国港湾協会 副秘書長 DING, Li 氏  
「Brief Introduction and Developing Trend of Passenger Transportation in China Port」
- ・事例発表2 韓国：韓国海洋水産開発院 アソシエイトリサーチフェロー  
LEE, Jong-Hoon 氏  
「Cruise Tourism in Northeast Asia」
- ・事例発表3 日本：大阪大学大学院国際公共政策研究科 教授 赤井 伸郎 氏  
「Cruise Promotion in Japan」

#### ○第2部「Maritime Connectivity ～Logistics～ (海洋連結性 ～物のつながり～)」

- ・事例発表4 中国：青島港(集団)有限公司大港分公司 マネージャー  
CAO, Fangliang 氏  
「Outlook for Development of Port Logistics」
- ・事例発表5 韓国：韓国海洋水産開発院 アソシエイトリサーチフェロー  
KIM, Geun-sub 氏  
「The Role of Port to Increase Maritime Connectivity」
- ・事例発表6 日本：神戸大学大学院海事科学研究科 教授 竹林 幹雄 氏  
「The Future of Short Sea Shipping in the North-East Asia Seaborne Transport Market」

#### ○特別講演：神戸市長 久元 喜造 氏

「Future of Port Town Kobe (みなとまち神戸のこれから)」

## 第16回北東アジア港湾局長会議（11月2日開催）



（左から、韓国崔釜山港建設事務所長、日本菊地港湾局長、中国姜水運局副局長）



（議長を務める菊地港湾局長）



（プレゼンテーションする吉井みなと総局長）

## 第16回北東アジア港湾シンポジウム(11月3日開催)



(特別講演される久元神戸市長)



(左:発表される赤井教授、右:発表される竹林教授)



(シンポジウム会場の模様)